



「遊覧船を活用した
地域活性化
ベストプラクティス集」

B E S T P R A C T I C E





はじめに

これまで、国土交通省では観光立国の実現を目指し、海事分野においては、地方誘客・消費拡大への貢献、多様な魅力の発信強化の三つの視点より、船やマリナクティビティを活かした海事観光の推進を図ってまいりました。

また、これからの次世代を担うより多くの人にとって、海や船がさらに「楽しく身近な存在」になることを願い、「C to Seaプロジェクト」を推進しています。

これまで遊覧船は、海事観光における中心的な役割を担ってきましたが、必ずしも地域の観光資源としての魅力が十分に活かされず、また新型コロナウイルスの影響も相まって、存続の危機に瀕しているケースが散見されています。



もくじ

有限会社アイコム	3 P
丸文松島汽船株式会社	5 P
勝瀬観光株式会社	7 P
富士汽船株式会社	9 P
奥只見観光株式会社	11 P
木曾川観光株式会社	13 P
紀の松島観光株式会社	15 P



一方、我が国には多様で豊かな自然が存在しており、それらが織りなす雄大な景色を日常とは異なる視点から体験できる遊覧船は地域における観光コンテンツの柱となる大きな可能性を秘めています。

本事例集では、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、遊覧船を中心に地域一体となった観光振興に取り組む全国14事業者を選定し、ベストプラクティスとしてご紹介しております。

本事例集をより多くの遊覧船事業者の方々にご覧いただき、今後に向けた取組みの一助としていただければ幸いです。また、事業者の方のみならず、観光客の皆様におかれましても、本事例集が遊覧船の魅力の再発見に繋がることを祈念致します。

国土交通省 海事局



丹後海陸交通株式会社	17 P
神戸バイクルーズ株式会社	19 P
山陰松島遊覧株式会社	21 P
青海島観光汽船株式会社	23 P
荅北観光汽船株式会社	25 P
株式会社シークルーズ	27 P
株式会社城山ストアー	29 P

有限会社アイコム



主な活動場所
釧路川

〒085-0847 北海道釧路市大町1-1-11 ベイサイドビル1F TEL 0154-41-7511 FAX 0154-65-7577
<https://icom946.com/crane/>

事業概要

使用船舶

SEA CRANE 総トン数 15 トン 旅客定員 35 名

営業時間・営業日

営業時間 10:00 ~ 18:00

営業日 GW 前から 11 月末日まで
(クルーズ船の運航は土日祝のみ)



乗船時間・乗船料金

サンセットクルーズ	90 分	大人 5,000 円	小人 3,000 円
ナイトクルーズ	90 分	60,000 円	
多目的チャータークルーズ	90 分	100,000 円 ~	

クルーズの特徴・見どころ

サンセットクルーズ

世界三大夕日の一つ「釧路の夕日」を、クルーズ船に乗って洋上から体験する釧路夕日観光クルーズ船 SEA CLANE。港町釧路のなかでも、釧路港でサンセットクルーズを楽しめる数少ないコース。

ナイトクルーズ

夕日が沈んだ後の釧路の夜景やライトアップされた幣舞橋、星空を見上げながらゆっくりと湾内をめぐる貸し切りクルーズ。

多目的チャータークルーズ（完全予約）

忘年会やクリスマス等、各種船上パーティー等、利用客のニーズに合わせてチャーターできるプラン。

取組みの概要

- 釧路市内にはアクティビティがなく、市街地では飲食・宿泊の利用がメインとなっている。市街の中心部から船を出す観光アクティビティをセールスポイントとして、観光協会と連携し、様々な企画への参加やPR等を行っている。新型コロナウイルスによって大きな影響を受けたが、地元の観光団体や利用者からの声もあり、地域に根ざしたアクティビティとしての取組みを継続している。

取組みのポイント

- 釧路湿原やタンチョウヅル、阿寒摩周国立公園等、夏の避暑地として訪れる観光客や、長期滞在者等を中心に、リピーターを確保し、地域に愛される遊覧船となるよう努めている。
- 新型コロナウイルスの影響を受け苦しい状況下でも、実施時期の限定や組織体制の変更等を行うことで、地域の声に応えている。

取組みの課題

- 広域的なマーケットの共有を行い、大観光地からの誘客促進を行う。
- 町の観光事業者が少なく、他事業者との連携による地域全体の盛り上げが難しい。

活用した支援策や資金調達法

- 補助の利用は行っていない。



地域との連携

- 音楽関係者とのコラボレーションによる船上コンサートや、シェフやソムリエを招いた単発イベント等を実施。
- 宿泊施設との連携による誘客促進の拡大を進める。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- インバウンドの利用客増加を図るため、ガイドの英語対応や、インターネット予約システムの強化、キャッシュレス決済の導入を行う。

- 「世界三大夕日」の魅力を広めるため、LCCの就航等を機に増加した若い世代をターゲットに、釧路への誘客促進を展開する。
- 旅行業法の問題はあるが、ホテルなどの宿泊施設からの送迎や観光スポットの周遊、新たなコンテンツの展開として屋台船の検討を行う。

丸文松島汽船株式会社

主な活動場所
松島湾



〒985-0016 宮城県塩竈市港町1丁目4-1 TEL022-365-3611 FAX022-365-3509

<https://www.marubun-kisen.com/index.php>

事業概要

使用船舶

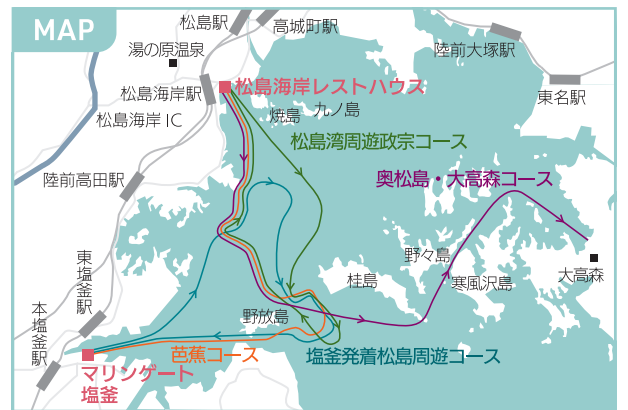
第二芭蕉丸	総トン数 86トン	旅客定員 300名
第三芭蕉丸	総トン数 129トン	旅客定員 300名
あおば	総トン数 227トン	旅客定員 400名
あすか	総トン数 99トン	旅客定員 210名

営業時間・営業日

営業時間	08:30 ~ 16:30
営業日	年中無休

乗船時間・乗船料金

芭蕉コース（塩釜～松島）	片道約 50分	大人（2等）1,500円	小人（2等）750円
塩釜発着松島周遊コース（塩釜～塩釜）GWのみ運行	約 50分	大人（2等）2,000円	小人（2等）1,000円
松島湾周遊 政宗コース（松島～松島）	約 50分	大人（2等）1,500円	小人（2等）750円
奥松島・大高森コース（松島～大高森）要予約・不定期	約 50分	大人（2等）2,000円	小人（2等）1,000円



クルーズの特徴・見どころ

松島湾周遊

松島・塩釜観光をより楽しんでいただくため、4つの遊覧コースを用意。潮風や海の香りを感じながら、自然が造り出した造形美とその迫力を間近で感じることができる、波の穏やかな湾内での運航である。

日本三景松島の魅力

湾内には260余りの島々があり、海の碧と、空の青、そして松の緑といった色彩豊かな美しさはいつの時代も観光客を魅了している。

過去には松尾芭蕉や伊達政宗といった歴史的人物もその景色に心を奪われ、現在は「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟を果たし、フランスのモンサンミッシェル湾やベトナムのハロン湾などと肩を並べる「世界の松島湾」としてますます注目されている。

取組みの概要

- 地域の特産品である笹かまの手焼き体験や焼き牡蠣と、遊覧船をセットにしたチケット販売の取組みを実施し、物産店、かまぼこ屋等と連携した松島を回遊してもらえるような仕組みを構築。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部商品の販売を休止している場合があります。

取組みのポイント

- 地域全体としての話し合いの場よりも、地域内外の各事業者と個々に企画の提案をしていく中で実施に至る。
- 旅行会社との連携もあり、東京から仙台までのJRチケット、宿泊、松島で一日遊べる企画チケットなどの販売も実施。

取組みの課題

- 新型コロナウイルスの影響を受け、平日は運休、土日みの運行となっている。
- 現在2社となっている遊覧船事業者間での連携が取れていない。利用客の回復を目指し、地域および事業者間での更なる連携が課題となる。

活用した支援策や資金調達法

- 塩釜市の補助により、遊覧船と塩釜市内の飲食店(寿司屋)で使える金券をセット販売。(販売価格の半分が行政負担)



地域との連携

- 修学旅行等の学校行事で地域に受入れる際は、宮城県の観光課や修学旅行サポート会社、東北観光推進機構等との連携を図っている。また、東北観光推進機構からは東北6県のインバウンドセールス等の情報提供などの活用を行う。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- 船内ガイドは北京語、広東語、英語、韓国語の4か国語に対応しており、コロナ以前は台湾やタイからのインバウンド客が多かった。1日10台程度の貸切バスによる団体客に対応していた。
- インターネットにおける予約割引や他業種とのセット販売等で利便性の向上を図る。

- 社会情勢が落ち着かない状況で特別なことをしても集客が難しいが、コロナの影響が少ない東北地域の教育機関(修学旅行等)に目を向けている。
- コロナ終息後では、修学旅行客は減少する可能性があるが、以前よりターゲットにしていた近畿圏及び九州圏の学校からの利用の回復に期待。

勝瀬観光株式会社

主な活動場所
相模湖



〒229-0101 神奈川県相模原市緑区与瀬382 TEL 042-684-2131

<https://www.kassekanko.jp/>

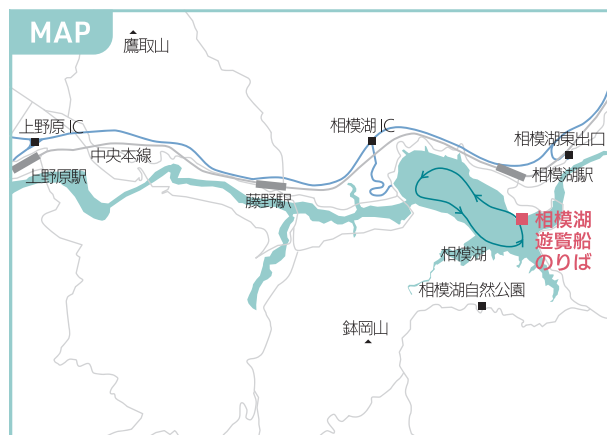
事業概要

使用船舶

ニクスワン丸	総トン数 16 トン	旅客定員 100名
モーターボート	総トン数 1トン未満	旅客定員 3~10名
足漕ぎボート	総トン数 1トン未満	旅客定員 2~5名
手漕ぎボート	総トン数 1トン未満	旅客定員 1~3名

営業時間・営業日

営業時間	夏季	09:00 ~ 18:00
	冬季	09:00 ~ 17:00
営業日	年中無休	



乗船時間・乗船料金

遊覧船	25分	大人 1,000円	小人 500円
モーターボート	30分	3,500円	
足漕ぎボート	30分	2,000円	~ 3,500円
手漕ぎボート	1時間	1,500円	~ 2,000円

クルーズの特徴・見どころ

相模湖一周

相模湖は周囲約12km、最大水深45mであり、湖上では観光遊覧・モーターボート・足こぎや手漕ぎボート遊びなどを楽しむ観光客が都心近郊という立地から多く見られ、マイクロツーリズムとしての利用がなされている。

ニクスワン丸

ニクスワン丸は昭和41年に就航した日本で初めての白鳥型遊覧船スワン丸の姉妹船として、昭和59年3月に進水した。令和4年3月には船体整備とイメージ一新のため全面塗装を施す化粧直しを行い、湖上にひと際、色鮮やかな姿を披露。

取組みの概要

- 相模湖観光協会、藤野観光協会、上野原観光協会との連携を組み、相模川を運航する航路を作ることで、点の観光から面としての広域観光を目指し、相模原～上野原間の観光船の実現に向けた取組みを行う。

取組みのポイント

- 協議会を運営するにあたり自治体と連携する必要があるが現状規制が厳しく、3つの観光協会が公の組織として動くことにより、規制が緩やかになれば実現できると考え、地域活性化を掲げ行政に働きかけをしている。
- 立地としては東京に近い観光地であり、自然環境が豊かで健康的なレジャーができるイメージから相模湖を目指して多くの観光客が多く、コロナ禍では個人の釣り客やボート遊び、ハイキング、ファミリー層をターゲットとしている。

取組みの課題

- 県の企業庁や土木事務所など様々な規約が妨げとなり実現が難しくなっている上、新型コロナウイルスの影響等により、各観光協会との協議が進まない。
- 遊覧船が、相模湖から上流に入る許可を得るための行動が必要である。

活用した支援策や資金調達法

- 船の老朽化に伴い、今後、新規造船が必要となった際には費用が多くかかるため、金融機関の融資だけで賄うことは難しく行政の支援に期待したい。



地域との連携

- 地域の飲食店等の他事業者との相互連携しており、特定の店舗に限らず観光客のニーズに合わせ幅広く乗船案内を実施。
- 「アトリエヨシノ」バレエミュージカルと連携を行い、白鳥の湖というイベントを実施。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- 来湖する外国人旅行者は日本国内の企業に勤務し、IT企業および各種工場労働者が多い。将来的なインバウンド対策として案内放送の多言語化（英語）を検討中。
- 利便性向上策としてインターネットでの予約システムを導入した。
- ターミナル、棧橋等へのスロープの整備は完了しているが、経営上の問題により船内のバリアフリー化が進んでいない。

- 社内の若手人材を核とした事業の推進や情報発信の強化を行い、持続可能な体制を整えていく。
- 新型コロナウイルスの影響で、テレワーク等の勤務形態が一般化し、家族や友人と過ごす時間が増えた人が増加している。そうした生活の変化を契機として、更なるマイクロツーリズムを推進するために、不特定多数の人々と密になりづらい遊覧船に新たな客層を取り込んでいく。



富士汽船株式会社

主な活動場所
山中湖



〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野506-1 TEL 0555-62-0130 FAX 0555-62-1060

<https://www.yamanakako-yuransen.jp/>

事業概要

使用船舶

白鳥の湖	総トン数 89 トン	旅客定員180名
ニューわかふじ	総トン数 18 トン	旅客定員 80名

営業時間・営業日

営業時間	09 : 30 ~ 17 : 00
営業日	年中無休

乗船時間・乗船料金

白鳥の湖・ニューわかふじ	一周約 25 分	大人 1,000 円	小人 500 円
--------------	----------	------------	----------



クルーズの特徴・見どころ

美しい山中湖と雄大な富士山の絶景を愛でながら、湖上クルージングのひとつをゆっくりと楽しめる。船内は、景色を楽しむための双眼鏡や船長気分を味わえるハンドル付の子供展望席など、山中湖を楽しむためのアイデアをふんだんに盛り込むことで、どこか懐かしい雰囲気の中にも、新しさの感じられる空間となっている。遊覧船「白鳥の湖」は、「日本一の富士の麓 山中湖に日本一美しい白鳥を浮かばせよう」をコンセプトに、子どもからお年寄りまで老若男女を問わず楽しめるよう従来の「プリンセス・オデット号」をリニューアルしている。

取組みの概要

- 観光協会主催で山中湖紅葉まつりを実施。事務所前のホームテントより紅葉回廊を観ることができ、夜にはライトアップされた紅葉と遊覧船の綺麗な景色がみられる。
- 観光協会主催で遊覧船内での音楽イベントを実施するなど、地域絡みのイベントの取組みを行っている。

取組みのポイント

- DMOとの連携で月1回の山中村主催の情報戦略会議を実施。そこではコンサルタントが施策担当として参加しており、観光事業推進のための情報分析データを約20の観光事業者が共有している。
- イベントを実施するにあたっては関係各所の合意が取れないとイベント実施に至らないこともあり、役場や観光協会とも調整しながら関係構築を図っている。

取組みの課題

- 特別な航路での紅葉クルーズを企画したが、海面利用の調整が上手くいかなかった。関係各所との関係性を築いていき、イベントを開催できるようにすることが課題である。
- 鉄道駅からバスで40分と距離があり、二次交通の強化が立地的な課題である。

活用した支援策や資金調達法

- 音楽イベントでは観光協会が文化庁のイベントの助成金を利用し、施設利用料を全額補助。



地域との連携

- 8月に開催される花火大会「報湖祭」で花火クルーズを行っている。遊覧船の利用者は宿泊客が多く、特別割引で遊覧船が利用できるよう宿泊施設と連携している。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- DMOが主導し、観光客向けのLINEグループを作成し、会員になると割引になる対応を行っている。国内観光はファミリー層が多く、個人客が中心となっている。
- インバウンドは全体の約6割を占め、団体利用が中心となっている。船の定員が180名なので団体2～3グループ程度の大人数の乗船も可能であることから、海外旅行会社の飛び込み対応も行っている。また、英語、中国語対応の多言語自動放送装置を導入している。

- インバウンドへの依存体質を改め、行政などの補助制度を活用し、国内向けをターゲットにした施策を充実させる。そのために、桜や紅葉などのイベントクルーズを毎月行い定着させる。
- 遊覧船事業そのものへの依存を減らすため、浜辺にハンモックや焚火を置いての星空観察会など、イベント開催を検討している。

奥只見観光株式会社

主な活動場所
奥只見湖
周辺



〒946-0082 新潟県魚沼市湯之谷芋川字大鳥 1317-3 TEL 025-795-2750 FAX 025-795-2244

<http://okutadami.co.jp/>

事業概要

使用船舶

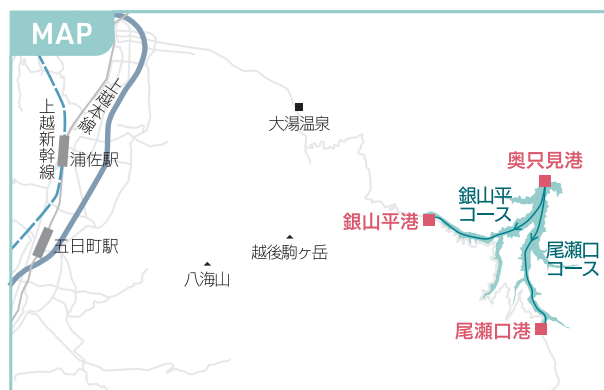
ファンタジア号	総トン数 149トン	旅客定員 300名
おぜ号	総トン数 19トン	旅客定員 150名
新はっさき丸	総トン数 13トン	旅客定員 50名
しおり丸	総トン数 19トン	旅客定員 100名

営業時間・営業日

営業時間	09:00	～	17:00
営業日	5/20	～	11/8

乗船時間・乗船料金

奥只見周遊コース	約 40分	大人 1,200 円	小人 600 円
银山平コース	約 40分	(片道) 大人 1,500 円	小人 750 円
尾瀬口コース	約 40分	(片道) 大人 1,500 円	小人 750 円



クルーズの特徴・見どころ

奥只見湖遊覧船の3つの航路の拠点

奥只見港は、奥只見湖遊覧船の3つの航路の拠点である。奥只見湖は水力発電用のダム湖のため満水時標高750mであり、遊覧船営業期間中の半年間で12mもの水位変動があり、湖の景観の変化が楽しめる。

奥只見周遊コース

奥只見湖の見どころを余さず巡る周遊コース。四季折々で変化する湖の表情を楽しむ。

银山平コース

越後駒ヶ岳、荒沢岳の玄関口「银山平」まで片道運行を行うコース。春は残雪に映える新緑、夏は涼風わたる湖上、秋は錦を彩る紅葉を船上から楽しめる。

尾瀬口コース

船とバスを乗り継いで、魚沼から尾瀬へ。遊覧船から始まる尾瀬への旅を楽しむ。

取組みの概要

- 市外のDMOも含めた地域連携により、誘客や観光商品の造成を図る。県内からの利用者が主だが、全国からの旅行者をターゲットに、市内だけでなく、湯沢周辺までの宿泊施設と連携した遊覧船料金の割引を実施。

取組みのポイント

- 佐渡島や奥只見観光、弥彦神社などは認知度も高く、観光地としてのポテンシャルはあるが、新潟と福島の間境といった立地からバス移動が主な交通手段となるため、旅行会社との連携をメインとした取組みを進める。
- 紅葉期は湯沢に1泊し遊覧船・苗場ドラゴンドラにそれぞれ1日といったコースが定番であり、県内や関西方面からのマイカーやツアーバスの利用客が多いことから、市外との連携を強化している。



取組みの課題

- 高齢者のマイカー移動が難しいため、バス会社との連携強化が常に課題。
- 船員の高齢化に伴う人材育成・人材確保。
- SNS、動画、ドローンなどのITを活用した情報発信の担当者を専門で配置し、若年層の観光客増加を図る。



活用した支援策や資金調達法

- 国の補助はいくつか利用しているが、基本的には民間で努力している。

地域との連携

- 他県に比べると各施設・事業者の営業マン同士でのつながりが強く、旅行会社には他の観光地の事業者も協賛を含めてツアーの提案を行っている。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- インバウンド観光客はもともと少ないが、今後はDMOと連携し福島県、群馬県を含めた尾瀬ヶ原のコース提案に取り組み、インバウンドもターゲットにしていく予定。

- 陸と湖の組み合わせとして、トレッキングを含めたコースを旅行会社へ提案しており、今後は他の見学場所や観光施設と合わせたコースづくりを提案していく。
- シルバー層を引き続きターゲットにし、群馬や福島を含めた広域的な地域連携を図る。湖の水位変動や地盤の影響で難航しているが、バリアフリー対応として、まずは段差解消機を設置予定。
- お客様に自然やエネルギー、歴史などの良さを知ってもらうためのガイドを育成し、スタディツアーとしての魅力を向上させる。

木曾川観光株式会社



主な活動場所
木曾川

〒484-0081 愛知県犬山市犬山北白山平2番地先
(鶺鴒)TEL 0568-61-2727 (遊覧船)TEL 0568-61-0057 FAX 0568-61-6126

<https://kisogawa-ukai.jp/>

事業概要

使用船舶

犬山城遊覧船	旅客定員 50 名
桃太郎紅葉船	旅客定員 50 名
木曾川鶺鴒	旅客定員 20～30 名

営業時間・営業日

営業時間	6/1～10/15	09:00～21:00
	10/16～5/31	09:00～16:00
営業日	6/1～10/15	無休
	10/16～5/31	土・日・祝休

乗船時間・乗船料金

昼 お手軽プラン	80分	大人 3,000 円	小人 1,500 円
昼 食事付き	140分	大人 5,000 円	小人 3,600 円
夜 お手軽プラン	75分	大人 3,000 円	小人 1,500 円
夜 食事付き	150分	大人 3,000 円	小人 1,500 円 (食事別途)
犬山城遊覧船	40分	大人 1,000 円	小人 500 円
桃太郎紅葉船	片道約 35分	大人 1,000 円	小人 500 円



木曾川 鵜飼

国宝「犬山城」が川岸に佇み、美しい表情を見せる木曾川で、1300年の伝統を誇る漁法「鵜飼」を観覧船から見ることができる。昼間の鵜飼は全国で唯一であり、豊かな自然の中で、鵜匠の妙技を体感。

木曾川 遊覧

四季折々の豊かな表情とともに、風格漂う犬山城やユニークな形の岩など、数々の見どころを楽しむことが出来る木曾川遊覧。開放感のある船のため、屋根で遮られることなく写真を撮れるのもポイント。

取組みの概要

- 新型コロナウイルスの影響を受け、これまで犬山城下町に集中していた観光客を木曾川に誘客することで観光客の分散を図るとともに、他分野との連携の可能性を見つけることを目的に、観光庁の補助事業「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」を利用。地域の旅館や店舗と連携し、船上プライダル、着物で遊覧、船上でスイーツを楽しむ企画等に取り組む。

取組みのポイント

- 鵜飼事業の定例会を月に1回程度実施し、犬山市、観光協会や鵜匠等と意見交換できる場づくりが行われている。
- 実証事業後、船上プライルや着物で遊覧する事業は継続的な実施を予定。また、プライベートクルーズや漁協と連携したパッケージツアーの造成を検討している。

取組みの課題

- 拠点整備や誘客、協議会運営等の木曾川中流域の活性化に繋がられるような総合的な支援が必要。

活用したい支援策や資金調達法

- 誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成。



地域との連携

- 平成15年に名古屋鉄道が鵜飼事業から手を引き、その後、「伝統ある鵜飼をなくしてはいけない」と、商工会議所会員等の出資を受けて起業した。地域の方々との雑談から生まれるアイデア等を事業に活かすなど、地域との繋がりを大切にしている。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- 新型コロナウイルス感染症の終息後に向けて、海外のエージェントとの連携や、ホームページの多言語化(韓国語や中国語等)の強化、インターネットでの事前予約及びキャッシュレス決済の導入を行うことで、インバウンド誘客に取り組んでいく。

- 木曾川中流域にある4市1町との連携を強め、各地区に拠点をつくり、回遊出来るような広域的な仕組みづくりを図るとともに、滞在型観光の推進によって、宿泊客の呼び込みを行う。
- 富裕層から一般客等、ターゲット別に事業の開拓を行っていく。特に、新たにオープンした高級ホテルの宿泊客のニーズに合わせた貸し切りクルーズ等のサービス提供を検討しており、高付加価値化のための船の改修や船頭のユニフォームの作成、お土産開発等を予定している。



紀の松島観光株式会社

主な活動場所
勝浦湾

〒649-5334 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町勝浦 442-20 TEL 0735-52-8188 FAX 0735-52-8234

<http://kinomatsushima.com/>

事業概要

使用船舶

くじら号 総トン数 19トン 旅客定員 86名

営業時間・営業日

営業時間 08:00 ~ 17:00

営業日 現在、土日祝日のみ
(コロナのため)

乗船時間・乗船料金

Aコース	約55分	大人 1,650円	小人 830円
Sコース(ショート)	約30分	大人 1,000円	小人 500円
Cコース	約40分	大人 1,250円	小人 630円



クルーズの特徴・見どころ

那智勝浦港周辺に点在する紀の松島をめぐるコースは、周囲17kmにおよぶ大自然が創造した海岸美、紺碧の海に浮かぶ大小130にもおよぶ奇礁奇岩を堪能できる南紀随一の景勝地をめぐる遊覧船である。

ドルフィンコースでは、イルカの調教訓練が船上から見学できる。

また、毎年元旦には「初日の出ツアー」を実施している。

取組みの概要

- DMO(一般社団法人 那智勝浦観光機構)により、那智勝浦町と太地町の自治体間の枠を超えた連携が可能となり、町と町を遊覧船で繋ぐパイプ役としてイベントを行っている。

取組みのポイント

- 生マグロの水揚げ日本一の那智勝浦町、捕鯨の盛んな太地町の連携の取組みとして、遊覧船を利用して施設を周遊できるイベントを実施。クジラ・マグロのグルメ巡りをテーマにした食べ歩き企画としてモニタークーポン券を発行した。
- 太地町ではイルカの追込み漁や夏にはイルカと一緒に泳ぐことができ、調教訓練を行っている施設もある。類似の観光資源と比べても一線を画すポテンシャルがあり、そこを上手く活かすネットワークづくりとして意義があった。

取組みの課題

- 外海に近く、天候に左右されやすいが、悪天候時のコンテンツが不足している。
- 観光地としてのポテンシャルはあるが、まだまだ地域としてのまとまりが無いので、行政やDMOを核にさらに地域との連携を強化していくことが課題である。

活用した支援策や資金調達法

- 多言語対応の看板の作成や期間限定のパフレット作成については行政からの助成を活用。



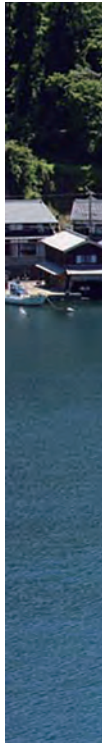
地域との連携

- 大阪・名古屋など関西圏からの個人の宿泊客が多く、周辺には大きな宿泊施設も多数あるため、宿泊施設へのパンフレットの設置やお客様の誘導等の連携を行っている。
- コロナ前には大学の同窓会などでの需要もあり、船を貸切にし、オードブル持ち込みでの利用などもあった。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- ホームページでの情報発信や予約システムの導入を行っており、利用者の9割程度が事前にホームページで調べて来ている。
- コロナ以前の外国人観光客は全体の5%程度であり、そのほとんどがアジア系の団体客であった。和歌山県がインバウンドに力を入れている為、県が主体となり台湾への営業活動を行っていた。

- 民間のみの力で遊覧船事業を続けて行くには限界があるため、行政が主体となり戦略的に地域のブランド力を高めていきたい。観光産業を確立していく中で、地域にとって遊覧船を必要不可欠な存在にしていきたい。



丹後海陸交通株式会社

主な活動場所
伊根湾・天橋立
周辺



〒629-2301 京都府与謝郡与謝野町字上山田641-1 TEL 0772-42-0321 FAX 0772-42-0339

<https://www.tankai.jp/>

事業概要

使用船舶

KAMOME 6	総トン数 19トン	旅客定員150名
かもめ5号	総トン数 19トン	旅客定員200名
かもめ11号・12号	総トン数 19トン	旅客定員120名
かもめ1号・3号	総トン数 19トン	旅客定員 80名

営業時間・営業日

営業時間	09:00 ~ 17:30
営業日	年中無休

乗船時間・乗船料金

伊勢湾めぐり	約 25分	一周 1,000円
一の宮航路	片道 12分	片道 700円 往復 1,200円



クルーズの特徴・見どころ

伊根湾めぐり

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている伊根湾には、古くから漁業と生活とが一体となって発展した舟屋の町並みが今も変わらず残されている。三方を山と島で囲われているため波も穏やかで、伊根の舟屋群とともに、ゆったりと情緒ある景観を楽しむことができる。

天橋立観光船

日本三景天橋立といえば「股のぞき」が有名で、年間を通して多くの観光客が訪れている。宮津～天橋立～一の宮間を運航する一の宮航路は、松並木で繋がる兩岸の文珠地区と府中地区を片道12分で結ぶ、海の京都・天橋立観光には欠かせない海上交通である。観光船からのカモメのエサやりも人気となっている。

取組みの概要

- 繁忙期になると宮津市文珠地区には必ず交通渋滞が発生し、市や地域住民、地域の観光関連事業者の長年の悩みの種であったことから、2005年のゴールデンウィークより、行政及び天橋立観光協会と連携した、「天橋立パーク&クルーズ」を実施。駐車場に車を止め、船に乗り換えることで、交通渋滞を避けて効率的に移動しながら観光を楽しんでもらう取組みである。
- 2014年に京都府の観光施策として「もうひとつの京都」計画が打ち出され、京都市内～宮津まで高速道路の開通、2016年には宮津乗船場付近に道の駅「海の京都 宮津」が誘致された。

取組みのポイント

- 船を利用することで、地域の課題であったオーバーツーリズムの解決を図るとともに、観光客の利便性向上に寄与することができる。
- 宮津市と天橋立観光協会（海の京都DMO天橋立地域本部）との連携の中で、それぞれの役割分担を明確化することで取組み体制の強化を図った。

取組みの課題

- 取組みの成果として船の輸送人員が増えた上、高速道路の開通等により更に大きく輸送人員が増加していたが、新型コロナウイルスの影響で現在は取組みが実施できていない。

活用した支援策や資金調達法

- 宮津市から助成を受け、駐車料金を無料化。
- 国からの補助金を活用し、繁忙期以外の期間において実証実験として運航し、効果検証を実施。



地域との連携

- JRと連携を図り、船・電車等がセットになった「ぐるりんパス」チケットの販売を行った。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- 看板やホームページ、船内放送での多言語化を行う。

- 行政や観光協会等との連携を強化し、引き続き「天橋立パーク&クルーズ」による利便性の高い観光地を目指す。
- 豪雨により当社が別途運営する傘松リフトの保護網の破損や台風による駅舎の浸水等、過去に複数の災害被害が発生しており、行政と連携し、地域全体で防災対策に取り組むことで安全な観光地域づくりを目指す。

神戸ベイクルーズ株式会社



主な活動場所
神戸港

〒650-0042 兵庫県神戸市中央区波止場町7番1号 TEL 078-360-0039 FAX 078-360-0038

<https://kobebayc.co.jp/>

事業概要

使用船舶

御座船 安宅丸	総トン数 486 トン	旅客定員 500名
ロイヤルプリンセス	総トン数 414 トン	旅客定員 500名

営業時間・営業日

営業時間	09:00 ~ 17:00
営業日	年中無休

乗船時間・乗船料金

ロイヤルプリンセス号	約40分	大人 1,400 円	小人 700 円
御座船安宅丸	約40分	中高年・シルバー	1,200 円
チャーター	約40分	220,000 円～ (税別)	
イベント	イベント毎に変動	イベント毎に変動	



クルーズの特徴・見どころ

神戸港観光周遊船では、大人気の定番コース

神戸港内一周を40～45分で気軽に回れる定番コース。神戸ハーバーランドや海上自衛隊の潜水艦、六甲山を背景とした神戸の街並みをスカイデッキから見渡すことができる。見晴らしが良ければ淡路島や明石海峡大橋の姿等、見どころたっぷりの神戸港の遊覧を船長の船内アナウンスにて案内。

使用船舶のこだわり

御座船 安宅丸は、江戸幕府3代将軍家光公の命により造られた巨船「安宅丸」をモチーフにして作られた船。2017年には水戸岡鋭治氏監修の下リニューアルを行い、古今東西の様式を曼荼羅のように組み合わせたデザインが特徴。ロイヤルプリンセスは、関西最大級の豪華遊覧船。中央に2階席へと続く階段があり遊覧船とは思えない豪華な造りで、ゆったり広々とした船内で神戸港を満喫できる。

取組みの概要

- 令和2年より神戸観光局とタイアップした取組みを行っている。神戸を舞台としたアニメ映画「Fate/stay night」とのコラボでラッピングフェリーを運航し、観光局が実施する期間限定の観光地を巡るスタンプラリーと同時に船を走らせ相乗効果を図った。

取組みのポイント

- 神戸大橋がアニメの舞台となっており、本航路が唯一その橋の下を通る遊覧船であったことから、「神戸」を売りにしたラッピングの提案やアニメ制作会社との調整を行った。実際に、期間中は聖地巡礼の誘客に成功した。更にはコロナ禍でも外出して乗船する熱量の高いファン層への訴求とその需要の摘み取り、並行してZ世代への訴求の先鞭事例となった。

取組みの課題

- SNS等を利用した情報発信の強化による、バイエリアへの観光客誘致。
- 船のラッピングにおける費用負担。

支援策や資金調達法について

- 観光庁主催地域連携区分3観光補助金を活用した。



地域との連携

- 同業他社2業者と、神戸観光船協議会として定期的に話し合いの場を設け観光客誘致や合同キャンペーン等を検討している。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- Wi-Fiの完備や英語アナウンスの導入を行う。今後、ネットでの事前決済等による利便性の向上が求められる。

情報発信の取組み

- インフルエンサーによるTikTokへの動画投稿をきっかけに、利用客はZ世代の若者が中心となった。Twitterの自社アカウントを活用し、TikTokユーザーに響くような情報発信を図っている。

- 関西万博に向けて、万博会場から神戸までの遊覧船の運航を検討している。



山陰松島遊覧株式会社

主な活動場所
浦富海岸 周辺

〒681-0073 鳥取県岩美郡岩美町大谷 2182 TEL 0857-73-1212 FAX 0857-73-1261

<https://yourun1000.com/>

事業概要

使用船舶

遊覧船	総トン数 16～19トン	旅客定員 95名
小型船	総トン数 1トン	旅客定員 12名
グラスボート	総トン数 12トン	旅客定員 64名
MUSE	総トン数 14トン	旅客定員 55名

営業時間・営業日

営業時間 09:00 ～ 17:00

乗船時間・乗船料金

浦富海岸島めぐり	約40分	大人 1,500円	小人 750円
冒険クルージング	約50分	大人 2,500円	小人 1,800円
浦富海岸海中めぐり	約45分	大人 2,000円	小人 1,000円
Muse クルージング	60分	大人 4,800円	小人 4,100円



クルーズの特徴・見どころ

遊覧船 浦富海岸島めぐり

船長が生の声で楽しく案内し、目をみはる水深25mの透明度と白砂青松の美しい砂浜や複雑に入り組んだリアス式海岸など変化に富んだ景観を眺望できるコース。

小型船 冒険クルージング うらどめ号

目の前で観る浦富海岸の大迫力が味わえる。遊覧船では通れない狭い航路を通り、洞門や洞窟、水深の浅い入り江も通過し、高さ70メートルの断崖の真下でその迫力を体感できるコース。

グラスボート 浦富海岸海中めぐり

船内中央の船底がガラス張りになっており、船内から海底の岩や砂、海藻、時には船の真下を泳ぐ魚を観賞することが可能。透明度を体感できるグラスボートで遊覧するコース。

クルーズ船 Muse クルージング

浦富海岸は女神が愛した海、通称「Iwamiブルー」と呼ばれており、エメラルドグリーンとコバルトブルーのコントラストは透明度が高く、スイーツを食べながら宝石のような輝きを見ることが可能。

取組みの概要

- 近隣の海岸では、近年マリンアクティビティに力を入れており、カヤック、SUP、シュノーケリングなどで年々利用客が増えていることから、近隣海岸のアクティビティ事業者と連携したPR活動を実施。



取組みのポイント

- HPのリニューアルを行い、遊覧船コースの詳細説明、近隣施設案内や体験プランの紹介など見やすい作りにし、新規の利用客増に向けた取組みを実施中。
- HPへの予約システムの設置やインスタグラム、FacebookなどのSNSの活用による情報発信を強化している。



取組みの課題

- 岩美町全体の課題として、地域の観光協会には約60社の事業者が所属しており、地域のアクティビティやゲストハウスなどの素材は多いが、商品化に結びつけられていない。
- 観光戦略を1から共に取り組み、実現していけるような人材を探していく事も課題の解決に繋がる。

活用した支援策や資金調達法

- 案内看板の設置やバリアフリー設備への投資支援として鳥取県や町の補助金で整備。

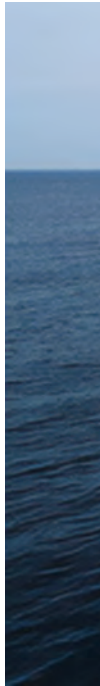
地域との連携

- 鳥取県は米子・鳥取空港の国際チャーター便に力を入れており、それに伴う来訪者を誘致するため大手旅行代理店への営業活動を実施中。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- コロナ以前は、中国をはじめとするアジア系の利用者が全体の3～5%存在していたため、HPや施設案内看板などの多言語化、案内看板の設置やバリアフリー化に対応している。

- 一大観光地の鳥取砂丘から車で10分の距離に位置しているが、鳥取砂丘の入込客の1割も利用がない状況にある。
- 現在、砂丘からの公共交通も少なく、鳥取市と岩美町で連携したPR活動がない為、行政の垣根を超えたPR活動を実現したい。
- 岩井温泉の宿泊施設等と連携し、シーカヤックのアクティビティ体験や地元海産物を使った食事などをセットにした商品パックを夏季限定で展開予定。



青海島観光汽船株式会社

主な活動場所
青海島近海



〒759-4106 山口県長門市仙崎字漁港南4297-2 TEL 0837-26-0834 FAX 0837-26-0835

<https://www.omijimakankoukisen.jp/>

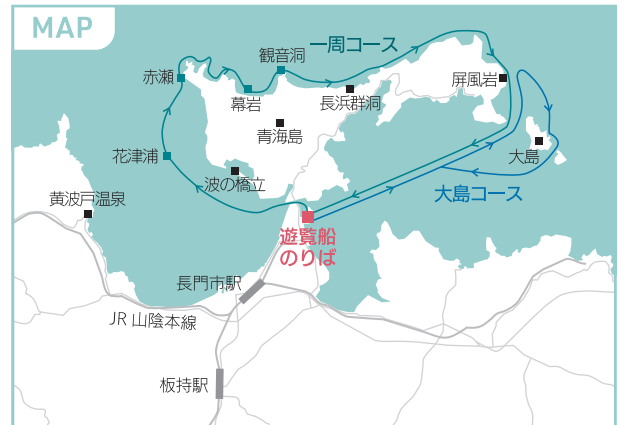
事業概要

使用船舶

シータス(クジラ船)	総トン数 19トン	旅客定員 80名
ピンクシータス(クジラ船)	総トン数 19トン	旅客定員 76名
イルカ船(ドルフィン以外)	総トン数 8.5トン	旅客定員 29名
ドルフィン(イルカ船)	総トン数 9.1トン	

営業時間・営業日

営業時間	08:00 ~ 17:00
	※12月~3月末 09:00 ~ 16:00
営業日	年中無休



乗船時間・乗船料金

一周	約 1 時間 20分	大人 2,200 円	小人 1,100 円
観音洞	約 1 時間	大人 1,700 円	小人 850 円
赤瀬	約 50 分	大人 1,300 円	小人 650 円
花津浦・紫津浦	約 50 分	大人 1,300 円	小人 650 円
大島	約 1 時間	大人 1,400 円	小人 700 円

クルーズの特徴・見どころ

青海島という名の通り真っ青な海に囲まれた、日本の渚100選にも選ばれた絶景スポットで、自然が造り出した洞門や奇岩群は、別名「海上アルプス」とも呼ばれ、迫力満点でフォトジェニックな風景をみられる。クジラ船に乗船すると船が潮を吹く仕掛けなどもある。

基本的には一周コースを運航するが、気象・海象によりコースが変更になる場合もある。

取組みの概要

- 地域の事業者や自治体と連携して、利用者の誘導やクルーズ船の誘致によるインバウンド観光振興を行う。

取組みのポイント

- ホームページや動画サイト、SNSなどを利用してPR活動を行ったり、ロードサービスやクレジット、アウトドア用品会社などの会員向け会報誌に特集ページや割引特典等を掲載し、情報発信を行っている。社長自ら営業活動を行い、ホテル事業者や観光コンベンションなどでの情報発信活動を展開。
- クルーズ船誘致の場合は県が企画する商談会や市の観光課からの依頼が多く、現在は年に1～2回程度船が寄港している。来島した利用者には観光バスやクルーズ船とのセットツアーとして、遊覧船の利用や地域周辺の観光地の利用を促す取組みを行っている。

取組みの課題

- 二次交通が地域全体の課題である。週末の観光列車（下関～萩間）もあるが、JR利用者にとっては大きな荷物を持つての移動や駅と観光地の移動時間等の不安が伴う。
- 個々の観光施設との連携強化や市の観光課との密な連携も今後の課題である。

支援策や資金調達法について

- 資金面では銀行への相談や、補助金などを利用。



地域との連携

- 周辺ホテルや関連事業者など十数件と連携しており、コース変更などの際には朝にコースが決定してからFAXで連絡を取り、フロントでの案内を行っている。ホテルでのパンフレット設置、長門・萩・下関、観光コンベンションなどの関係各所で情報発信を実施。JRでもパンフレットを設置し、JR利用客への特別価格として割引対応を行っている。

- 角島大橋や元乃隅神社などとの連携や、サービスエリアにある電子広告への広告掲載や台湾や韓国、東南アジアへ向けた情報サイトと提携し、情報発信を強化する。
- サービス面では、日頃からアンケートで頂いているご意見に対応できるように考えていく。

苓北観光汽船株式会社

主な活動場所
天草周辺



〒861-6195 熊本県天草郡苓北町富岡2711-47 TEL 0969-35-0705

<https://www.reihoku-kisen.jp/>

事業概要

使用船舶

Kizuna II	総トン数 19 トン	旅客定員 57名
Kizuna III	総トン数 19 トン	旅客定員 60名

営業時間・営業日

営業時間	06:30 ~ 18:00
営業日	年中無休

乗船時間・乗船料金

イルカウォッチング	60 ~ 90分	一人 2,500 円
チャーター天草一周	5時間	110,000 円
チャーター崎津行	3時間	80,000 円



クルーズの特徴・見どころ

イルカウォッチング

天草の海は、イルカのエサとなる小アジやイカなど魚介類の宝庫であり、世界でも珍しい定住性のイルカを一年中見ることができ。潮風の中を群れて遊ぶイルカは人なつっこく、運が良ければ豪快なジャンプを見ることができる。

西海岸から見る美しい夕焼け

富岡西海岸の夕陽はとても美しく、多くの人に楽しんでもらえるように、夕焼けウォッチングのクルーズを令和4年度秋から開始する計画である。

取組みの概要

- 町の観光商工課や宿泊施設と連携を行い、令和4年度秋から夕焼けウォッチングの運航を計画。
- 天草市や九州産交、熊本県とも連携し、苓北～世界文化遺産の構成資産の一つとなっている崎津までの運航を検討。

取組みのポイント

- 夕焼けウォッチングにおいては、町の観光商工課や宿泊施設を巻き込んだ協議会を作り協議を行う。
- 富岡場跡、苓北発電所など地域の観光施設や熊本県、九州産交グループとも連携を図ることで、船上サービスや船の欠航時の対策等の協議を行う等、地域内での連携を強化している。

取組みの課題

- 町内での連携を密にする一方で、苓北町は火力発電所があることから、敢えて市町村合併をしておらず、天草市等の他の自治体との広域連携が課題となっている。



支援策や資金調達法について

- 苓北町全体で専門家を取り入れ立案や資金調達を行っている。
- 夕焼けウォッチングの実施にあたって国の補助金を利用して運航を予定。

地域との連携

- 新型コロナウイルスの影響によって各地で修学旅行が実施できない中、卒業記念として、「海から見る地元」をテーマに地元小中学生の受入れを行った。新型コロナウイルス終息後も、引き続き学校のカリキュラムの一貫として受入れを継続していく意向。

インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- 港内にある観光協会での翻訳機器にて多言語対応を行う。
- 長崎県がサイクリング客の誘致に力を入れ始めていることから、コロナ終息後、インバウンド客が増加することが期待されるため、キャッシュレス決済の導入による利便性の向上を図る。

- 町との連携を強化し、富岡港へのアクセスの利便性向上や長崎市へ向けた情報発信の強化を行うことで、個人客の誘致を図る。また、レンタサイクル事業の展開による苓北町全体への観光客の波及を図る。

株式会社
シークルーズ主な活動場所
天草周辺

〒861-6195 熊本県上天草市松島町合津6215-22 TEL 0969-56-2458 FAX 0969-56-2993

<https://www.seacruise.jp/>

事業概要

使用船舶

マリソル号	総トン数 19 トン	旅客定員 75名
セレナ号	総トン数 19 トン	旅客定員 59名
オリビア号	総トン数 12 トン	旅客定員 25名
ZUIHO II	総トン数 7 トン	旅客定員 12名
エルミラ号 (平水のみ航行)	総トン数 19 トン	旅客定員 70名
ビスタボニータ号	総トン数 19 トン	旅客定員 90名 (限定沿海は74名)

営業時間・営業日

営業時間 08:30 ~ 17:30

営業日 年中無休 (不定休)

乗船時間・乗船料金

天草イルカウォッチング	120分	大人 4,800 円	中学生 3,800 円
		小学生 2,800 円	幼児 1,800 円
天草五橋クルージング	30分	大人 1,600 円	中学生 800 円
天草宝島ライン	20分	大人 1,000 円	中学生 500 円

クルーズの
特徴・
見どころ

天草イルカウォッチング

クルーズ船と並んで泳いだり、ジャンプしたりするバンドウイルカを目の前で楽しむ感動の体験ができるコース。

天草五橋クルージング

無数の島々と五橋が魅せる絶景の中、日本三大松島の1つ「天草松島」をめぐるクルージング。

天草宝島ライン

三角と松島間を約20分で結ぶ定期航路。海の幸や温泉等、船旅とともに天草を楽しむことができる。

取組みの概要

- JR九州やバス事業者等、地域の交通事業者と連携した取組みを積極的に行う。九州新幹線全線開通をきっかけに定期航路に参入し、ダイヤの調整を行うとともに、JR九州A列車と駅、船のデザインを統一することで、「鉄道」×「船」の旅を実現した。2019年10月には、観光拠点施設である「ミオカミーノ天草」が開業し、九州産交グループと共同企業体を組み管理を行うことで、交通拠点としての機能をもたせ更なる利便性の向上が図られた。

取組みのポイント

- 積極的な営業活動によりJR九州やバス等の公共交通を巻き込んだ事業を主動することで、利便性の向上を図るとともに、マイカー利用が出来ないインバウンド客の誘致にも成功した。
- 数年後のイベントや社会情勢等、先を見据えた対応を着実にを行うことで、意図的に機会を掴んできた。

取組みの課題

- 需要の変動に影響されない付加価値の高いサービスを提供することで、昨今の新型コロナウイルスのような不測の事態に備える。

支援策や資金調達法について

- 交通事業者や行政との連携のもと、補助金に頼らず地元民間企業と連携しながら投資開発を進めている。



インバウンド対応等、受入環境整備の取組み

- 多言語対応したネット予約システムを開始するとともに、ネイティブスピーカーの雇用等を行うことで、インバウンド対応を行う。遊覧船に関する質問だけでなく、ホテルへの連絡等、お客様の要望に応えることで信頼を得ている。
- 2019年に熊本でラグビーワールドカップが開催されることをきっかけに、英語、中国語、韓国語に加えフランス語での対応を開始。周知には行政協力を受けることができ、実際に欧米の誘客増加にも繋がった。

- これまでの取組みで着実に成果が上ってきていることから、今後も交通事業者や他の観光事業者との連携を図るとともに、情報発信の強化によって知名度の向上を目指す。

株式会社城山ストア



主な活動場所
錦江湾

〒890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目50-1 TEL 099-213-0004 FAX 099-257-3145

https://shiroyamastore.com/queens_shiroyama/

お問い合わせ 上記HPの「お問い合わせ」をご利用下さい。

事業概要

使用船舶

クイーンズしろやま 総トン数 19 トン 旅客定員 80 名

営業時間・営業日

営業時間 09:00 ~ 21:00 ※季節により変動あり

営業日 年中無休

乗船時間・乗船料金

遊覧	60分	大人 1,500 円	小人 1,000 円
ランチ	90分	大人 3,000 円	小人 2,100 円
ディナー	120分	A コース	大人 5,000 円 小人 3,500 円
		B コース	大人 8,000 円 小人 5,600 円
		C コース	大人 10,000 円 小人 7,000 円
チャーター	90分 ~ 120分	大人 2,500 円 ~ (料金は応相談)	



※その他にも、約30の錦江湾クルーズの航路があります。

遊覧クルージング

朝夕、七色に移り変わる雄大な「桜島」。その桜島を望める錦江港では、波と戯れるイルカたちも見られる。

ランチ・ディナークルージング

旬な味覚をふんだんに使った豪華な昼食膳、和洋折衷の多彩なオードブルを味わいながら、港町・鹿児島島の景色を楽しめる。

チャーターセットプラン

船上ウエディング、同窓会、出会いクルーズなど、さまざまに「夢とロマンと感動を演出する空間」を体験できる。

取組みの概要

- 小売業(スーパーマーケット)を主とする事業者によるクルーズ事業は桜島出身である創業者の夢であった。県内市内の人々に鹿児島島の海の楽しみ方を伝えたいという想いで、コロナ禍前からマイクロツーリズムを展開している。

取組みのポイント

- スーパー経営から始まり、平成17年に遊覧船事業を開始。錦江港の観光事業は鹿児島市からの期待もあり、事業計画書を提出した後、市と連携して事業を展開していった。元々マイクロツーリズムを展開していたが、コロナ禍を機に注目を浴びている。

取組みの課題

- 現在、岸壁に係留できる場所が少ない為、鹿児島港など各地に県の河川港湾課が主導となり、観光客向けの浮き桟橋の設置が進められている。

支援策や資金調達法について

- 事業計画書を作成し、市から資金補助を受けている。



地域との連携

- カヤック、ホテル、水族館などの19社が所属している錦江湾観光協会内の繋がりを活かしている。シーカヤック体験との連携では沖合まで船を出したり、電車、バス、船を乗り継ぐツアーなど船だけで完結しない回遊を行っている。

- 地元地域の人々に利用してもらう為のクルーズを考案し、マイクロツーリズムを拡大していく。そのためにPR活動や教育機関等への機会提供を行い、地域の人々の認知度を更に高め、マイクロツーリズムを推進していく。「鹿児島島の魅力」情報発信や他業種とのネットワークを構築し、コロナ終息後にはインバウンドなど大きな市場からの集客も見据えた観光戦略を推進する。シーカヤックや、ホテル、更にバスとの連携を推進すると同時に、始良市、霧島市、垂水市、鹿屋市、錦江町、南大隅町、指宿市など、錦江湾に面する各地域とのネットワークを展開していく。



国 土 交 通 省 海 事 局

令和4年3月